

## 第60回神奈川県合唱祭報告

会場：神奈川県立音楽堂

出演日時：2017年6月24日（土）

演奏曲：[ミサ曲第二番「小ミサ曲」より Gloria](#)

作曲 Charles Gounod

出演者：18名

指揮：鷹巢 誠一

ピアノ：櫻井 由理

トップテナー：三枝（康）、田中（秀）、田辺、生方  
セカンドテナー：飯田、田中（利）、菅原、岡本  
バリトン：蒲谷、加藤（英）、高橋、福井、岡田  
ベース：柿崎、宮野、志澤、伊東、相原



神奈川県合唱連盟創立60周年 第60回神奈川県合唱祭

2017年6月24日・25日 神奈川県立音楽堂 木のホール

講評者の先生方から講評を頂きました。先生方の経歴などは第 60 回神奈川県合唱祭のプログラムをご覧ください。

講評者	講	評
伊集院 俊光 先生		たいへん格調の高い演奏です。短い前奏につづく、音の立ち上がりが立派でした。よくまとまったひびきに聞き入りました。各フレーズの終わりで、ハーモニーが落ちつくところで乱れることがないように。
二階堂 孝 先生		ひよとしたら 本日 最初で最後のグリークラブなのではないか！ グリー好きの僕としては期待感が高まります。 なかなかの安定感！そして声も若々しい。 各フレーズ 終止のカデンツもっと正確にお願いします。 Qui sedes ~のあたりがもっと緻密に鳴らせるようなら Last に向かって更なる感動が生まれるはずです。
横山 潤子 先生		・・はい！確かに アンチエイジングなお声です。 そして、そうなのですが、まったくお若いばかりのワカモノのそれとも違う、味？のようなものが射しておいでになるんですね。 私は男声はまだ「珍しい未知なもの」なので、楽譜の書きは どーなってるのか？なども想像しながら聞き惚れていました。終盤の前、わりと弱奏で短いフレーズがたたみかけられていくような部分（・・・た、確か？）は、フレーズ間の引力？がさらに up でも？

出場団体の皆様からもコメントを頂きました。

団体名	
女声合唱団藍の会 様	音程が正確で明るいテノールの声が特に美しかったです。 安定した男声合唱でブラヴィッシモでした。
合唱サークル ぽこ・あ・ぽこ 様	男声らしい雄々しさとやわらかさのバランスがいい、若々しい声にびっくりしました。「歌いつつ歩まん」を实践されてきたであろう年輪の深みを感じました。これからも素敵なハーモニーを奏でてください。